

## 環境情報学府 M2

### <第4回>

長谷川先生の講演で、とても印象に残った言葉があります。

一性差ではなく、環境で人は成長する。“人”は環境を作り出せる。—

本当に素晴らしい言葉だと感じました。第3回でも感じたことではありますが、生き生きと働き、成長し続ける為に必要なのは、何よりも自分からアクションを起こすこと、これに尽きるのです。

上條先生の講演でも同様のことが述べられていました。“今、問題は何か”、“それを解決する為に自分が何をするか”、この繰り返しが大切であり、なくしては成長できないのです。これまで5名の先生方の講演を拝聴しましたが、活動分野は違えど、これだけは共通していたことでした。

私は現在社会人3年目であり、あと35年の技術者生活が残されています。仕事についても勉強についても inspire される講演を早い段階で聴くことが出来、非常に幸運だと思っています。講演を聴いて以降、“自ら”の姿勢が強くなったとも感じています。今後も成長の為に、また、生き生きと仕事をする為に、その姿勢を保ち続けたいです。

## 環境情報学府 D1

12月6日に神奈川婦人会館で第4回講義としてシンポジウムを開催した。この「女性キャリアパス」という授業のお陰で、生物系の有名な先生である総合研究大学院大学先端科学研究科教授、長谷川真理子さんとコペルNPO代表である上條茉莉子さんの貴重なお話を聞かせて頂きました。

上條茉莉子さんは企業・起業・NPOの経験から「生き方を編みなおす／女性のマルチキャリアパスモデル」について、長谷川真理子さんは、進化生物学の立場から「性差と個人差をめぐるジェンダーのジレンマ」についてそれぞれ講演された。

ところで、私は、長谷川真理子さんの「自己を認識することで他者への共感も、というこの人間の能力に人類の未来に対する希望を持ちたい。」という一言にとっても関心を持った。

つまり、人間には、自己を認識し、社会を認識する大きな能力があるから自己認識が確立すると同時に、他者への共感といったものも生まれる。(長谷川真理子さんのホームページによる)それで、自己認識できている人は、自分の感情を把握し、感情のコントロールができるため、健全な心理状態を保つことができ、また、前向きで積極的な価値観を持ち、いつまでも落ち込んだりせず、すばやく抜け出すことができる。一方、自己認識できていない人は、把握しきれない自己の感情に陥ってしまい、なかなか抜け出せないことがあり、人との関係もうまく解決できないでしょう。

辞書によると、「自己認識力」とは、自分の感情(情動)を自分自身で把握する能力を指している。自分が今なにをどう感じているのか、冷静で客観的に自分の感情を把握できるということは、その上で自分の行動を決めることができるということである。逆に自己認識できていないと、情動に流された行動しかできなくなり、対人関係においても支障をきたしてしまう。(ネットによる)

今回の長谷川真理子さんの講演を通して私は「自己認識」ということの重要さをより理解でき

ました。それについて、自分の中の何を伸ばし、何を改めるべきかを知ることが何より大事だと思うようになった。

2年前のことですが、私はネットで、電力会社でエコロジカルな暮らしを提案する建築・建設の専門家である織間亜希さんの、将来、何をしたいのか悩んでいる人に対し、「今、無理やり決めなくてもいいのではないのでしょうか。やりたいことを短期的に見つけるのではなく、長期的に考えて、その時々で、方向づけを行っていくことが大切です。」という言葉をご覧になった。それからは、自分が何をしたいかを考え続け、小さくても夢を持つようになった。

小さくても夢を持つことは大事なことです、「自己認識」ということはもっと大事ではないかと考えるようになった。世の中には、いつも、「男の方が女よりも価値があり、女より偉い」と言われているのですが、実はそうでもない女性キャリアーたちはそれを証明している。人間はチンパンジより優れている点があるように、女性も男性の方よりいくつかの優れている点がある。それゆえに、私達はこれからの仕事や勉強など色々な活動の中には、その優れている点を果たして行きましょう。

## 留学生

第4回の女性キャリアパスの講義では、先生方が社会人として、研究者として働いている女性にとって、分野別、性別などによる、女性に適切な社会環境がまだ完璧になっていないところとある程度でなっていたところを日本の社会と世界を比較しながらいろいろ教えました。研究者になりたい、一生懸命に頑張りたいと言う女性のために、社会の協力や理解がとても大切です、また、女性がいろんな分野で自分の能力を発言するためには、みんなが努力するべきだと思います。そのため、私も女性として力のある限り頑張ります。

この講義で、女性研究者としている先生方の話から、研究、仕事、家族での苦労やうたがいの関係についての努力、様々な経験をわかりました。私のこれからの進路について自信が更に強くなりました。女性キャリアパスの授業にご協力している先生方に心より感謝いたします。

有光先生、この講義でとてもいい勉強になりました、どうもありがとうございました。後も、よろしく願いいたします。